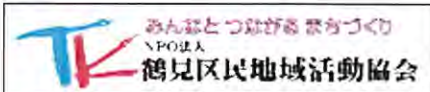


横浜市生麦地区センター 指定管理者事業計画書			
申込年月日 令和 3 年 6 月 29 日			
団体名	<small>とくていひえいりかつどうほうじん</small> 特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会		
代表者名	<small>つちだ かずお</small> 土田 和男 (理事長)	設立年月日	平成 17 年 8 月 22 日
団体所在地	横浜市鶴見区鶴見中央三丁目 2 番 1 号 横浜鶴見共同ビル 207		
電話番号	045 (633) 8409	FAX 番号	045 (633) 8594
沿革 ・ 設立の経緯	平成 7 年 4 月	鶴見区自治連合会が中心となり、任意団体の「鶴見区民利用施設協会」を設立。平成 17 年までに管理委託 12 施設（末吉ほか 5 地区センター、上寺尾小ほか 5 コミュニティハウス、こどもログハウス、鶴見中央集会所）を運営	
	平成 17 年 8 月	17 地区連合会長が発起人となり、特定非営利活動法人「鶴見区民地域活動協会」を設立	
	平成 18 年 4 月	指定管理 7 施設（5 地区センター、1 コミュニティハウス、鶴見中央集会所）、管理委託 4 施設（コミュニティハウス）を運営	
	平成 23 年 4 月	指定管理 4 施設（2 地区センター、2 コミュニティハウス）、管理委託 4 施設（コミュニティハウス）を運営	
	平成 28 年 4 月 ～現在	指定管理 8 施設（5 地区センター、2 コミュニティハウス、こどもログハウス）、管理委託 4 施設（コミュニティハウス）を運営 ※運営施設名は 1 ページに記載	
業務内容	<p>当法人は、鶴見区自治連合会が「市民利用施設等の管理運営に関する事業を行い、また、行政との協働事業を通じて、地域交流、まちづくり等の支援を行い、不特定多数の市民を対象に公益の増進に寄与すること」を目的に設立した NPO 法人であり、その強みと特徴を活かして、以下の業務を行っています。</p> <p>1. 市民利用施設の運営管理 …地域活動・交流拠点の運営管理</p> <p>2. 地域交流支援 …地域のネットワーク力を活かした活動や交流を促進する事業展開</p> <p>3. まちづくり等の支援 …行政、自治連合会、地域団体等と協働して「地域力の強化」「区内経済・活力の向上」「子どもから大人まで安心・元気に」を目指すまちづくりを支援</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
担当者 連絡先	氏 名	<div style="background-color: black; width: 150px; height: 1.2em; display: inline-block;"></div>	
	電 話	045 (633) 8409	
	E-mail	<div style="background-color: black; width: 150px; height: 1.2em; display: inline-block;"></div>	
	所 属	事務局	
	F A X	045 (633) 8594	

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
イ 応募団体の業務における本施設の指定管理業務の位置づけ
ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

自治連合会が設立した地元 NPO 法人として、地域密着型の組織運営と地域のネットワーク力を活かした事業展開・交流促進を通じて「みんなとつながるまちづくり」を進めます。

◇ 地域に信頼される市民利用施設の管理運営

公平性、安全性、利便性、快適性 の確保
挨拶、笑顔、傾聴 を基礎とする、利用者への対応
施設の老朽化への対応

◇ 地域交流・まちづくりへの支援

主要施設に、担当理事（連合自治会長）を配置
自治会、地域団体との連携を強化し、地域との協働事業を展開

◇ 時代の変化への対応

インターネット予約の導入（コロナ禍の来館回数の軽減にも有効）、
Twitter・Facebook による情報発信、Wi-Fi 環境の整備、増加する
高齢者・外国人向け事業の充実

◇ 行政との協働事業の展開

施設の計画改修・修繕、災害時対応、新型コロナ対策、鶴見 3 大祭りへの支援など



地区 Ce 圏域図(約 1km)

イ 応募団体の業務における本施設の指定管理業務の位置づけ

鶴見区の市民利用施設の管理運営と地域交流・まちづくり支援を目的とする当法人にとって、生麦地区の拠点として欠くことのできない施設であり、当法人が運営する地区センター 5 館のネットワークの一翼を担っています。

歴史や文化が豊かなまちの「地域住民の自主的活動、相互交流の場」

- ◇ 生麦第 1（海沿い）、生麦第 2（丘陵地）地区の地域活動拠点
◇ 生麦地域ケアプラザ、ふれあいの家、地域との協働の事業（ふれあいの家祭り、三館合同秋まつり）
◇ 蛇も蚊も、生麦事件顕彰祭（生麦第 1）、社会福祉健民運動会（生麦第 2）等、盛んな地域活動支援

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

鶴見区の市民利用施設の管理運営に十分な経験と実績があります。

施設名	所在地	開始年月	業務区分	施設名	所在地	開始年月	業務区分
潮田地区センター	鶴見区本町通	平成 7 年 3 月	指定管理	鶴見中央コミハ	鶴見区鶴見中央	平成 22 年 12 月	指定管理
矢向地区センター	〃 矢向	平成 8 年 10 月	〃	白幡公園ログ	〃 東寺尾	平成 28 年 4 月	指定管理
生麦地区センター	〃 生麦	平成 28 年 4 月	〃	上寺尾小コミハ	〃 馬場	平成 7 年 3 月	業務委託
末吉地区センター	〃 上末吉	平成 28 年 4 月	〃	新鶴見小コミハ	〃 江ヶ崎	平成 7 年 4 月	〃
寺尾・鶴寿荘	〃 馬場	平成 28 年 4 月	〃	市場小コミハ	〃 元宮	平成 7 年 4 月	〃
潮田公園コミハ	〃 向井町	平成 12 年 4 月	〃	寛政中コミハ	〃 寛政町	平成 10 年 4 月	〃

※コミハ：コミュニティハウス、ログ：こどもログハウス

(2) 生麦地区センターの管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

① 設置目的

- ・生麦地区の住民の自主的な文化活動やまちづくりの拠点となる施設

② 区政運営上の位置づけ

- ・区政運営方針である「地域力の強化」「区民経済・活力の向上」「子供から大人まで安心元気に」「区民サービスの向上」を踏まえ、「いつまでも住み続けたいまち・鶴見」の実践の場。
- ・区防災施設への協力、自治会・町内会の活動支援、鶴見の魅力を知る



イ 地域特性、地域ニーズ

① 地域特性

- ・京急生麦駅を中心とした地区。鉄道により生麦第 1 地区（平坦地）生麦第 2 地区（丘陵地）に大きく分かれています。
- ・「生麦事件」「蛇も蚊も」「旧東海道祭り」や寺社がたくさんあり、元花月園遊園地など歴史的な魅力が多い。地域のつながりが深く、地域活動も盛んです。
- ・少子高齢化が進んでおり（高齢化率 22.9%、年少人口比率 10.6%）、鶴見区全体（同 21.3%、同 12.7%）と比べても進行が早い。生麦第一地区のみの年少人口比率は 6～7%ですが、マンション建設による増も期待できます。（令和 2 年 9 月末の市統計）



圏域図(約 1km)

② 地域ニーズ

- ・子育て世代の応援、相互交流（泣いても大丈夫コンサート、親子リトミック）
- ・高齢者の健康推進、楽しさ提供（誤嚥防止講座、高齢者体操、落語、そば打ち、コンサート）
- ・活発な地域交流の支援（子供フェス、旧東海道まつり、防災会議、自治会加入促進広報の発行）
- ・鶴見川流域保護の支援（下流ネット鶴見、貝殻浜生物調査隊、）
- ・地域歴史を伝える（歴史講座）
- ・図書貸出し推進事業（図書館機能の充実）

ウ 公の施設としての管理

公の施設として、横浜市地区センター条例に基づき、次の項目に留意し運営します。

- ① 利用者の人権、利用者目線、公正・透明な利用ルールを第一とします（職員研修の充実）
- ② 利用手続きの公平性や利便性を確保し、事務を効率化します（インターネット予約）
- ③ 業務点検・実態調査・ニーズ分析結果を業務に反映します（アンケート、データ集計等）
- ④ 業務改善・サービス向上に対し継続的に取り組みます（館長会、実務者勉強会）
- ⑤ 運営協議会を強化し、課題解決に努めます（運営委員を多方面から招聘）
- ⑥ 情報の公開と広報・広聴の充実・強化（ホームページ、掲示板の活用、回覧ちらし）

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

- ◇法人事務局が各施設をバックアップして契約、経理、労務等の事務を一元管理します。
- ◇施設の職員は、管理運営や利用者対応に専念できる体制になっています。
- ◇区内の当法人が管理する施設や自治会町内会など地域団体と連携・協力した運営を行います。

◆職員の構成と雇用の形態

- ・館長 1 名、副館長 1 名、主任 3 名、スタッフ 14 名の計 19 名で構成
- ・館長は、管理能力に優れ、幅広い知識と経験を有して、市政に通じ、地域団体等と良好に連携できる人物を配置します。
- ・副館長は、コミュニケーション能力が高く、地域事情にも詳しいベテラン職員で、将来の館長候補となる人物を配置します。
- ・主任は、スタッフ経験者から抜擢した優秀な若手職員で構成します。
- ・スタッフは、勤務経験が豊富な職員から新人職員までバランスをとった勤務配置とします。
- ・地域から「地域アドバイザー」を選出していただき、地域と館との連絡・調整を行います。

職種	人数	雇用形態	勤務時間・日数	業務内容
館長	1	常勤職員	7 時間・週 5 日	管理運営の総括責任者、地域との連絡調整
副館長	1	常勤職員	7 時間・週 5 日	館長代理、経理
主任	3	日給職員	7 時間・月 12～15 日	館長・副館長の補佐、自主事業の企画
スタッフ	14	時給職員	4.25 時間・月 15 日	利用の受付、施設管理・整理、用具の貸出、自主事業補助

◆勤務体制

- ・常勤職員または主任が、少なくとも 1 名在館することを基本にシフトを組んで勤務します。
- ・窓口業務は、会議室・体育館対応に午前、午後、夜間とも 2 名のスタッフが勤務し、円滑な引継ぎを行うため勤務時間が重なるようにしています。
- ・また、利用者が多い時間帯、自主事業、企画検討会等必要時には複数の勤務者を配置することで臨機応変な運営を行います。
- ・様々な業種（前職が教員、公務員、電機メーカー等）の知恵を出し合って業務にあたります。
- ・スタッフが持つ優れた技量（知識、外国語、手芸等）を自主事業の講師等に活用します。

		時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		開館時間													
常勤・主任(早番)	1～2人														
常勤・主任(遅番)	1～2人														
A スタッフ(午前)	2人														
B スタッフ(午後)	2人														
C スタッフ(夜間)	2人														

◆新規採用

- ・新規スタッフは鶴見区内、特に近隣から公募します。鶴見区内の自治会町内会への回覧、ポスター掲示により周知を図り、地域における活動経験の豊富な人材を採用します。

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

◆個人情報保護の体制

当法人は、個人情報の適正な取扱いについて、組織を挙げて取り組むために以下の規程を定め、全職員に対し、毎年度初めの研修及び定例ミーティングにおいて周知徹底を図っています。

- ・「個人情報の保護に関する規程」「個人情報保護方針」（平成 29 年 6 月制定）
- ・「特定個人情報（マイナンバー）取扱規程」「特定個人情報についての基本方針」（平成 28 年 1 月）

そのうち個人情報保護方針では、利用目的と取扱責任者等を以下のとおり定め、当法人ホームページに公開しています（抜粋）

【利用目的】 当法人は、個人情報を以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

個人情報の区分	利用目的
利用者	施設利用手続き(利用申込、自主事業申込、図書利用)及び連絡
自主事業講師	自主事業実施、打合せの連絡
職員	職員の雇用管理、勤怠管理
自治会役員、各種委員会委員	施設の運営に関する依頼、連絡

【取扱責任者】 当法人における個人情報の取扱責任者は以下のとおりです。

最高責任者(全体統括)	事務局長	個人情報の取扱について、最終責任を負う。
運用責任者(事務局)	事務局総務担当職員	事務局で取り扱う個人情報の責任者
運用責任者(施設)	施設長	施設で取り扱う個人情報の責任者

◆研修計画

① 研修体制

- ・施設研修（職場研修）、法人研修、横浜市等が実施する研修への派遣の 3 本立てで実施します。
- ・職員のキャリアアップを想定した階層別研修を実施します。
- ・利用者に気持ちよく利用していただけるよう、接遇マナー、人権尊重を重視します。
- ・災害対応や事故防止、地域連携など重要な課題についても積極的に取り組みます。

区分	主な実施内容
スタッフ	OJTによる習熟度の向上、個人情報保護、事故防止、接遇マナー、人権
主任	OJTによる習熟度の向上、個人情報保護、事故防止、人権、事業企画、新任主任研修
副館長	法人の基本方針、人権、会計経理、衛生推進者、新任副館長研修
館長	法人の財務、労務管理、リスク管理、設備管理、防災計画、区政運営方針、地域まちづくり
課題別	災害対策、新型コロナ対策、ICT 活用、地域理解、人権

② 人材育成（キャリア形成とモチベーションの向上）

- ・職員全員に意向調査・面談を実施して、他館への異動も含めて人材育成を図ります。
- ・職員の意欲・能力により、スタッフ ⇒ 主任 ⇒ 副館長 ⇒ 館長 と昇任させます。
- ・職員表彰制度 日々の業務に加え、地域活動、自主事業への貢献の高い職員を表彰します。

(3) 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

◇ 横浜市、鶴見区防災計画に沿った緊急時の体制確立

- ・ 鶴見区と災害時の施設利用協定を締結（平成28年4月）
- ・ 「災害対応マニュアル」を整備（平成29年2月）
- ・ 緊急時館長連絡網の整備（パソコン、携帯メール同時配信）
- ・ 緊急地震速報・気象警報受信FMラジオ、懐中電灯を配備
- ・ 自動販売機は災害ベンダー対応機を設置
- ・ 防災備蓄庫を設置（ミネラルウォーター336本備蓄）

◇ 地域や近隣施設との連携

- ・ 地元防災拠点の運営委員（自治会長、学校長）は、当館の運営協議会委員で日頃から顔の見える関係にあり、いざという時に拠点との連絡や応援協力など臨機に対応できます。
- ・ 生麦中エリアの防災ネットワークの一員として活動に参加しており、地域ケアプラザと合同で消防訓練を実施しています。

◇ 区内在住職員で構成する緊急体制

- ・ 事務局、館長、副館長等及び主任 41名中 34名の区内在住者により、夜間・休館時の区内12施設の緊急相互応援体制を確立しています。
- ・ その他スタッフは全員が施設近隣に在住し、館長等の指示により緊急時の施設開錠に対応できる体制となっています。

◇ 危機管理マニュアル

- ・ 火災・台風及び風災害・地震・不審者・事故・盗難等様々な場面に対応しています。
- ・ 緊急連絡網（法人事務局・施設職員・区役所・警察・消防）を定めています。
- ・ 非常時の対応手順を事務所内に掲示しています。

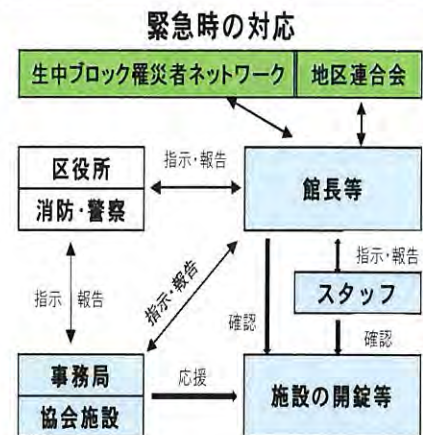
◇ 不審者対策

- ・ 防犯カメラ設置 ⇒ 夜間、施設前の不審者監視
- ・ 青少年補導員による巡回 ⇒ 立ち寄り時に情報提供しています。
- ・ 地域警察官による巡回 ⇒ 必要に応じ立寄り
- ・ 小・中学校生徒指導教諭と情報交換・連絡をしています。

◇ 事故防止策

- ・ 火の元、水回り、電気停止、戸締り確認
⇒ 業務日誌、チェックリスト表にて毎日確認しています。
- ・ 事故等の発生事例、ヒヤリハット事例の共有
⇒ 館長会、館の定例ミーティングにおいて共有と注意喚起を行っています。

◇ 施設及び設備の故障等防止についてはP11(6)に記載



消防訓練



AED訓練



防犯カメラ



(4) 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

地域住民の自主的な活動により、人と人を繋げ、相互の交流を促進して、地域コミュニティの醸成と地域連帯意識の形成を図るため、次のとおり運営を行います。

<運営内容>

- ・地域行事等に積極的に参加し、情報の収集や要望などを取り入れます。
また、そのことで、地区センターを仲間として認知してもらい、利用の足がかりとしてもらいます。
- ・乳幼児から高齢者まで、性別、国籍などを問わず、参加しやすい運営や事業企画を目指します。
- ・地域ケアプラザ、ふれあいの家と地域との協働の事業を行います（ふれあい祭り、三館合同秋まつり）。

地域行事「こどもフェス」
に出店参加



イ 利用促進策

<利用状況の分析>

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により開館日数が大幅に減少し（前年比▲58 日）、加えて、施設の利用制限（3 密回避）や地域住民の外出自粛、利用控えも影響しました。

- ① 年間利用人数は 4 万 7 千人（前年比▲56%）で、特に子ども（幼児～中学生）と 65 歳以上男性は前年比▲60%超となっています。
- ② 各室全体の稼働率は 39%（前年比▲14%）で、体育館は 85%以上を維持したものの、会議室の落ち込みが大きく、その結果、利用料金収入の減（前年比▲30%）等にも繋がりました。

今後コロナが収束しても、生活・行動様式の変化に伴って、これまでの利用者は容易に戻らないことが想定されるので、新利用者の開拓に注力する必要があります。

<次期 5 か年での利用促進策>

- ① 施設や自主事業の広報・PR 強化
 - ・自治会町内会の掲示板、回覧板（毎月）、学校等への広報、
 - ・持ち帰り用自主事業チラシ ・館内外の事業ポスター掲示
 - ・新着図書の表紙の掲示 ・インターネットによる広報
- ② 利用者サービスの向上
 - ・会議室、ロビーへの Wi-Fi 環境の整備
 - ・新着図書の充実（年間 200 冊購入）
- ③ 魅力的な自主事業の展開
 - ・キャンセル待ちの多さやアンケート等の要望がバロメーター
 - ・そば打ち、歌声喫茶、パソコン講座などへの中高年男性の増加
 - ・サークル化として定着をめざした自主事業の実施
 - ・コロナ終息後の料理の自主事業実施し、料理室の稼働を伸ばす。
 - ・線路を越える生麦第二地区の利用者の取り込みに寺尾地区センター等との共働事業の実施

七段かざりを展示
来館のきっかけづくり



新刊図書の表示
来館のきっかけづくり



(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について

◆利用料金設定の基本方針

- ・利用料金設定は横浜市地区センター条例を基準とし、現在の料金設定を継続します。
- ・部屋の稼働率を高め利用料金収入の増加を図る目的で、空室を減らす対策を講じます。

◆利用料金の設定について

- ・利用者アンケート等で 2 時間の時間設定や利用料金は好評であるため、今後も継続します（右表）。
- ・自治会活動など地域の活性化を目的に施設を利用する場合は、明確な減免基準により対応します。
- ・部屋が空いている場合は、1 時間単位の追加利用を可能とし、利用料金は半額とします。

部屋	利用料金
小会議室	320 円/2 時間
中会議室	720 円/2 時間
ミーティングルーム	300 円/2 時間
料理室	640 円/2 時間
和室	660 円/2 時間
体育室 A 面 (1/3)	440 円/2 時間
体育室 B 面 (1/3)	440 円/2 時間
体育室 C 面 (1/3)	440 円/2 時間
余暇コーナー (工芸室)	500 円/2 時間

◆部屋の稼働率の向上

- ・令和元年度、インターネット予約を導入し、予約方式を応当日から応当月に変更しました。

また、インターネット抽選後の利用回数制限をなくしたため、利用者の予約を簡便にしました。（コロナ禍においても来館せずに予約がとれ、体育室などは空き利用申込が増えています）

- ・インターネット利用により、平日来館できなかった新規登録団体が増加しています。
- ・小学校の帰宅時間が遅くなったため、個人利用の 15 時からの時間帯を増やし、13 時から 15 時に成人の団体利用が可能になっています。
- ・和室は健康マージャンや軽易な体操に貸し出し、減少する茶道に替わるものとして利用できます。
- ・コロナ収束後は、料理室を利用する自主事業を実施して、利用を後押しする予定です。
- ・サークル化して定着するような自主事業を、実施します。
- ・団塊の世代が地区センターに足を運ぶような企画を実施します。
- ・線路を越える生麦第二地区の利用促進のために、寺尾地区センターや東寺尾ケアプラザとの共催事業を企画し、来館機会を増やします。

◆インターネット予約等

- ・ほとんどが高齢者という地区センターの利用者に、インターネット予約導入を丁寧に説明しました。パソコンの苦手な人のために、来館や電話予約の受け皿も用意しました。
- ・結果として、直接来館しないため、コロナウイルスの対応も善処できました。
- ・令和 2 年度末から ZOOM やスマホ講座を実施しています。
- ・今後、スマホ世代の若い人が対象の自主事業の際には、スマホで申し込めるようなやり方も考えていきます。



(4) 施設の運営計画

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

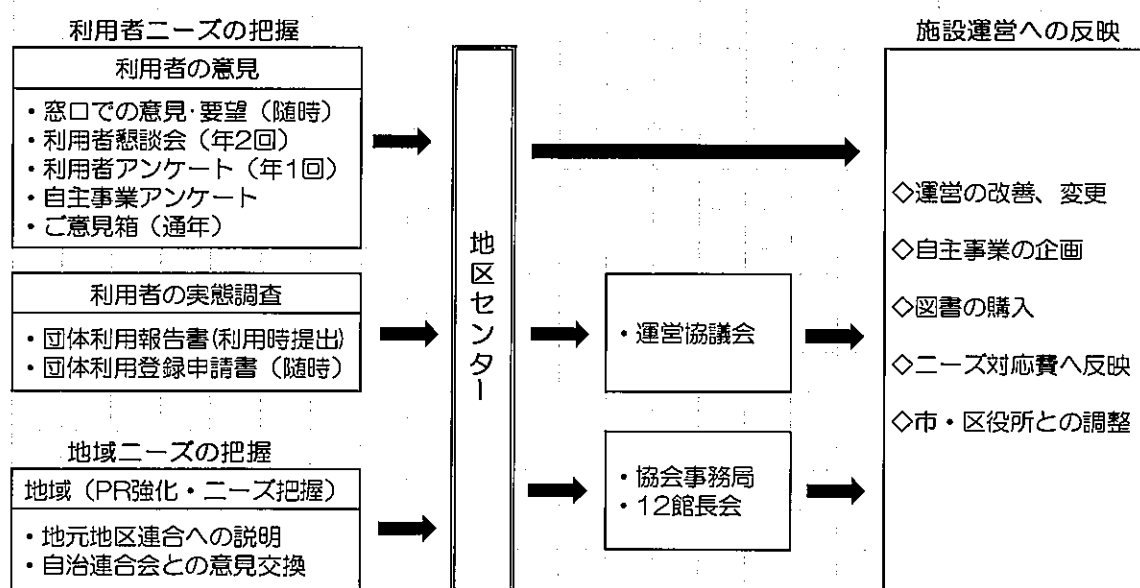
オ 利用者サービス向上の取組

カ ニーズ対応費の使途について

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

日々の利用者だけでなく、地域への PR 強化及びニーズ把握に努めます。また、運営協議会を通して様々なジャンルの方々のご意見を取り入れ、課題の解決、利用の拡大・促進につなげます。さらに、法人 12 施設の館長会で情報共有し、各施設の運営改善等にも結びつけます。

(図) 利用者ニーズの把握と運営への反映



オ 利用者サービス向上の取組

開館当初から現在までに把握した利用者ニーズを反映した取組と、新規利用者開拓や新たな取組について、以下のように実施しました。今後とも、改善していきます。

- ① インターネット予約の導入、予約方式の変更（応当日 ⇒ 応当月）（P7 に掲載）
- ② ロビー、会議室への Wi-Fi の導入
- ③ 自主事業のインターネット申込、スマホ決済の検討
- ④ 小学校の帰宅が遅くなっているため、体育館個人利用の 15 時開始を増やした。（P7 に掲載）
- ⑤ 体育館団体利用を、5 割から 6 割に変更し、夜間の団体利用希望を取り入れ可能にした。
- ⑥ 図書年間 200 冊購入の継続。図書の予約ができるようにした。

カ ニーズ対応費の使途について

利用者サービスの向上につながることを目的に、効果的な予算執行を行います。

- ・卓球台やバドミントンボールや防球ネット
- ・若い世代向けの音楽ツール Bluetooth
- ・書籍年間 200 冊
- ・花壇の花苗
- ・コロナ予防の消毒薬、検温器等
- ・三館合同地区センター秋まつり費用

(4) 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組

◆情報公開

- ①指定管理業務にかかわる情報は、区及び当法人のホームページに公開しています。
- ②ホームページで施設の利用方法や自主事業の案内などを掲載し、利用者アンケート結果及び回答は館内に掲示しています。

◆人権尊重

施設運営の根幹である人権尊重については、引き続き、館長、主任、スタッフなどすべての職員に研修を実施するほか、様々な機会をとらえて啓発に努めます。

◆障害者福祉政策

- ①障害者団体の優先・減免適用や利用しやすい施設環境の整備
- ②地域作業所「ふれあいの家」の行事（夏祭り、もちつき大会、コンサート）を地域ケアプラザと地域との協働で実施
- ③身近なふれあいの家との協働事業を行うことで、障害者への垣根が低い地域であることが喜ばしい。今後も協働していきたい。

ふれあいの家との共催
クリスマスコンサート



◆環境への配慮

- ①ヨコハマ3R夢プランに沿って、分別・資源化を徹底します。
- ②節電（照明のLED化）に心掛けCO₂削減に努めています。
- ③環境を学ぶ自主事業を実施します。（鶴見川お魚観察、地球温暖化防止科学事業）
- ④落ち葉のたい肥化を行っています。

◆市内中小企業優先発注

- ①施設管理点検関係は、区内中小企業に優先して依頼しています。
- ②消耗品の購入は区内中小企業を優先し、備品の購入は市内中小企業を優先しています。

◆男女共同参画政策

- ①職員総数 162 人（女性:83%、男性:17%）。内、常勤職員の女性の割合は 71%。12 施設の館長は 8 人が女性
- ②男女が性別の区別なく参加できる、自主事業を展開します。

◆多文化共生

- ①多くの外国人等が暮らす街として、誰もが利用・参加しやすい施設運営と自主事業の充実に引き続き取り組みます。

◆読書活動推進

- ①新刊図書を充実させ、新刊が手軽に借りられる街の小さな図書館づくりを進めます。
- ②図書の貸出し冊数の増加を図り、地区センターの魅力を高めます。
- ③子供の本総選挙に参加し、読書活動を推進したい。

◆自治会町内会、地域活動団体の支援

- ①「地域協働事業」の推進（子供フェス、三館合同地区センター秋まつり）
- ②地域活動の支援（蛇も蚊も、生麦事件顕彰祭、運動会、敬老会、旧東海道まつり）
- ③「鶴見区自治連だより」の発行など自治会加入促進への協力

(5) 自主事業計画

◆基本的な考え

自主事業は、生麦地区の地域特性や年齢構成を反映させて計画しています。多くの事業が好評でしたが、コロナの影響で、事業を組み立てなおす必要ができました。

そこで、**ウィズコロナ時期**には、比較的安全な「ペン習字」「絵手紙」「似顔絵」などから始め、「器楽のコンサート」、飲食を伴わない「そば打ち」などを工夫して実施していきます。また、高齢者の健康を考えた体操も実施していきます。

「藍染め」も汚れ防止や排水処理など地区センターで行うメリットがあると考えています。

自主事業実績

年度	事業数	日数	人数
H28	56	185	5,029
H29	66	199	10,089
H30	69	237	10,582
H31	56	184	12,888
R2	25	74	1,091

琴コンサート



そば打ち



藍染 T シャツ



アフターコロナ時期には、高齢者に好評の「歌声喫茶」や子育て中の保護者を癒す声楽の「泣いても大丈夫コンサート」を行います。かなり有名な方に出演していただいた実績があります。またヘルススメイト協力の料理教室、上生菓子作りなどを再開していきます。

また、生麦では、河岸工事の際に一部干潟として残していますが、この保護を目的とした「鶴見川のお魚観察」を実施します。これは、**環境問題**を考える取組として「地球温暖化防止科学事業」とともに継続していきます。また、多文化交流として「琉球舞踊」発表も行う予定です。

高齢者に人気の落語



鶴見川お魚観察（干潟保護）



夏休み化学工作



子育て中の保護者を癒す泣いても大丈夫コンサート



施設間合同事業として、複数館で持ち回りの「鶴見史跡巡りリレー講座」や近隣施設と合同開催の「ブラツルミ」を行います。また、ダンスや音楽、アートなどを応援する横浜市の芸術支援事業としてサルビアホールとともに盛り上げていく考えです。

琉球舞踊発表（多文化交流）



(6) 建物の維持管理計画

◆施設の維持管理業務

安全・快適な環境維持及び施設長寿命化の見地から、区役所と連携強化・情報共有を図りながら計画的かつ効果的な保全・更新を進めます。また、小破修繕についても、引き続き積極的に対応してまいります。

＜建築物保守管理・設備機器管理・清掃・保安警備・環境衛生管理＞

・専門業者による主な点検

項目	業務内容	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気 機械 設備	設備巡点検	12回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	空調機保守点検	2回		●						●				
	電気設備点検	12回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
衛生 管理	レジオネラ属菌検査	2回			●		●							
	ウォータークーラー保守点検	1回			●									
	冷却塔化学的洗浄	1回		●										
	冷却塔定期清掃	4回				●	●	●	●					
	害虫駆除	2回			●						●			
建物 等	消防設備点検	2回						●					●	
	昇降機点検	12回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	自動ドア保守点検	3回		●				●				●		
	機械警備点検	12回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※清掃については、毎日の日常清掃の他に、カーペット清掃や窓ガラス清掃を適宜行っている。

・職員による点検

職員による日々、時間帯毎の点検実施、チェックリストに基づき確認、軽易なものは職員が修繕

◆施設の老朽化と積極的な対応

①生麦地区センターは、S57年開館し37年経過しました。諸設備の老朽化は否めなく、区役所との連携を深め、順次更新を進めています。また、法人で留保した修繕費を活用して大規模な修繕等にも対応しています。

＜最近5年間の主な実績＞

H30年5月～7月	冷温水発生器オーバーホール
R元年度1月～3月	照明設備改修(LED化)
R元年度11月～3月	体育室空調設備設置工事

②建物管理の知識と経験を持つ職員が、市の技術職員と専門的な協議を行い対応しています。

＜主な対応例＞

- ・敷地内樹木の強剪定
- ・変電設備（遮断機の交換）
- ・屋外給水管の張替え（漏水事故）
- ・職員による溝さらい→排水機能復活・職員によるベンチ修理

鬱蒼とした樹木 ⇒ 強剪定



◆効率化の工夫

①法人及び施設間で、建物管理や修繕等について情報交換・共有を行いながら、優先順位をつけて効率的・計画的に業務を進めます。

②職員、スタッフによる日常点検を行い、早期発見・対応することで修繕費を削減します。

(7) 収支計画 (収入計画)

ア 収入計画の考え方について

イ 増収策について

ア 収入計画の考え方について

当法人の予算は、利用者に質の高いサービスを提供し、安全かつ清潔な施設を運営管理することを目的に作成しています。

- ① 利用料金収入を増やすため、部屋の稼働率の向上策（予約方式の充実）を行う。
- ② 魅力ある自主事業を実施して、サークル化を支援し新たな利用団体等を増やす。
- ③ 印刷サービス、自動販売機等の、来館者に利用しやすい環境整備を行う。

＜利用料金収入計画の設定＞

新型コロナウイルスが収束して、令和 4 年度以降、休館や利用制限がないことを前提としますが、一旦離れた利用者がすぐに戻ってくるとは考えにくいいため、3 年目の令和 6 年度にコロナ前の元年度の水準を、4 年目・5 年目は前年比 1%増の稼働率を見込み、利用料金収入を設定します。

	R 元年度	R2 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
稼働率	52%	39%	48%	50%	52%	53%	54%
利用料金収入	2,990 千円	2,083 千円	3,012 千円	3,136 千円	3,262 千円	3,325 千円	3,387 千円

*R 元年度の利用料金収入は、休館補正を行うと 3,262 千円

イ 増収策について

① 利用料金収入の増加

- ・予約方式の変更（インターネット予約の導入、応当日から応当月へ）により、体育室などの部屋稼働率を上げています。
- ・新たな利用サークルを誘致することで、会議室、和室、料理室、余暇コーナー（工作室）などの利用を促進します。

② 自主事業収入の確保

- ・参加者に魅力ある自主事業を提供して、継続利用に繋げるとともに、サークル活動の活性化を支援します。
- ・参加費に自主事業に要する費用（材料費、講師謝金等）を含め、適切な参加費を設定します。



③ 雑収入の増加

- ・利用者の要望を踏まえたコピー・印刷機サービス、自動販売機の設定を行い、雑収入の増加を図ります。



以上のことに積極的に取り組み、安定した収入を確保します。

(7) 収支計画（支出計画）

ウ 支出計画の考え方について

ウ 支出計画の考え方について

当法人の「経理規程」に基づき、最小の経費でその目的を達成し、かつその効果を最大限発揮するよう努めます。

また、区内の地区センター・コミュニティハウス 12 施設を管理運営しているスケールメリット、近隣の施設と連携できるメリットを生かし、管理事務の一本化を図ることで経費の削減や執行の効率化を行います。

<具体案>

① 人件費

- ・当法人の給与基準及び就業規則に基づき積算します。
- ・「指定管理者制度における賃金水準スライド」を踏まえ、算定します。
- ・職員は施設の近隣地域からの採用を基本とし、緊急時の対応と通勤手当の削減を図ります。

② 管理費 A（光熱水費）

- ・利用者サービスの低下を招かない範囲で節減に努めます。
- ・施設の老朽化に伴う設備更新において、省エネルギー効果を踏まえた更新を行います。

③ 管理費 B（清掃・衛生・設備管理）

- ・適切な清掃や専門業者による点検を行い、不具合の早期発見に努めます。
- ・不具合には早期修繕と計画的な更新を行います。
- ・月次・年次管理点検計画に基づき、確実に管理を行います。

④ 事務費

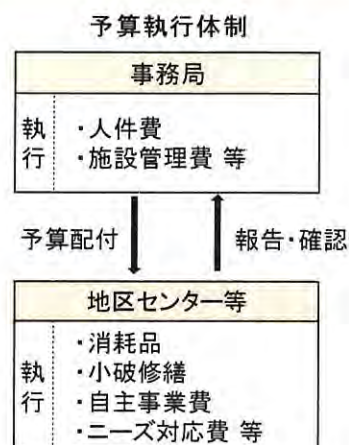
- ・会議や資料の簡素化、ペーパーレスを一層推進して、事務費の節減や無駄排除を徹底します。
- ・消耗品については、法人での一括購入も含め、施設間での情報交換を密に行い、故障等により不要となった機器の消耗品を施設間で融通し合い、経費削減を図ります。

⑤ 適正な執行管理

- ・経理規程に基づき契約や支出手続きを適正に行い、各施設で執行したものについては施設内（館長まで）のチェックに加え、事務局へ報告・確認する体制を取っています。
- また、会議、研修等を通じて職員のコスト意識を引き続き高めてまいります。

これまで当法人は、業務改善や職員業務体制見直し等のプロジェクトを組み、利用者サービスの向上、施設の老朽化に対する適切な対応、経費削減のために日々努力を重ねてきました。

今後も、自治連合会との連携を深め、地元の中小企業を積極的に活用するなど、予算執行の面からも地域に信頼される運営を続けてまいります。



(8) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

当法人では、新型コロナウイルス感染症等に関して、国の基本的対処方針、神奈川県対処方針及び横浜市の「市民利用施設等の感染予防・拡大防止に係る基本的対応事項」ほか通知等を遵守し、また、区役所の指導を得て施設の消毒等を徹底してまいりました。

この間、利用者はもとより地域の協力も得て、施設を原因とする感染や施設内での感染拡大は起きていません。引き続き、安全で快適な施設運営のため一層の対策を進めるとともに、当法人の持つネットワークを生かして地域への啓発等に積極的に取り組みます。

◆基本的な考え方

新型コロナウイルスの感染期には、感染拡大防止を最優先とした管理運営を行います。併せて、施設所管課、区福祉保健センター及び地域の皆様と緊密な連携のもとに適切な感染予防策を講じて、地域住民の活動・相互交流の場としての役割と責務を積極的に果たしてまいります。

◆感染防止対策

- ・ 神奈川 LINE コロナお知らせシステムの導入
- ・ 入館時の検温・手指のアルコール消毒の実施、受付への飛沫防止カーテン設置
- ・ 利用者への感染防止の注意喚起（掲示・団体へのチラシ配布）
- ・ マスクの着用、社会的距離の確保、施設内の消毒、換気の実施
- ・ 横浜市ガイドラインによる会議室、体育室等の利用人数等の制限
- ・ 職員へのスタッフ会議等での感染防止の注意喚起
- ・ スタッフによる利用ごとのテーブル・イス消毒、卓球台清拭実施（アルコール不可）
- ・ 内部会議のオンライン開催
- ・ 自治会町内会と連携して地域への情報発信

検温と受付の社会的距離



◆自主事業開催の工夫

- ・ 人数を制限して回数を増やすなど開催方法の工夫
- ・ 歌声喫茶など飛沫感染のリスクの高い事業の自粛
- ・ 3つの密を回避するため、会議室、ロビーで実施していた事業の体育室への変更
- ・ アクリル板利用と客席の距離を開けて実施
- ・ オンライン講座、動画配信による開催

アクリル板利用の落語



◆利用料金収入減に対する対応策

- ・ 新規団体開拓による収入減の抑制
- ・ 利用者ニーズの低い事業や設備の廃止、見直しによる支出の削減
- ・ 内部（公的機関を含む）講師や地域人材、ボランティア団体の積極的な活用

◆感染防止を踏まえた予約受付

- ・ インターネット予約システム（導入済）の活用
- ・ 利用日当日の料金収受による来館回数の減

横浜市生麦地区センター 自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
親子リズムあそび (2回)	乳幼児と保護者 12組×2回 1000円	38,000	14,000	24,000	36,000	0	2,000
はなしのお宿	乳幼児と保護者 8組×11回 無料	36,000	36,000	0	33,000	0	3,000
夏のおはなし会	乳幼児と保護者 8組 無料	0	0	0	0	0	0
泣いても大丈夫 コンサート	乳幼児と保護者 20組×2回 無料	24,000	24,000	0	24,000	0	0
ハロウィンパーティー	未就学児と保護者 15組 100円	2,000	500	1,500	0	0	2,000
フォトdeクリスマス	乳幼児と保護者 15組 100円	2,000	500	1,500	0	0	2,000
ママカフェ	乳幼児と保護者 10組×2回 100円	5,000	3,000	2,000	0	0	5,000
子育て相談	乳幼児と保護者 12組 無料	0	0	0	0	0	0
にこにこサロン	乳幼児と保護者 20組 無料	0	0	0	0	0	0
おもちゃ病院	幼児～小学生 15名 無料	18,000	18,000	0	18,000	0	0
ワンパクサタデー	小学生 自由 無料	35,000	35,000	0	35,000	0	0
鶴見川のお魚観察	小学生と保護者 10組 300円	3,000	0	3,000	0	0	3,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
地球温暖化防止 科学講座	小学生 16名 500円	8,000	0	8,000	0	8,000	0
夏休み親子木工教室	小学生と保護者 10組 500円	10,000	5,000	5,000	0	5,000	5,000
子ども化学講座 手作り香水	小学生 16名 500円	14,000	6,000	8,000	6,000	8,000	0
どうやっていれる？ ボトルシップ	小学生 16名 500円	14,000	6,000	8,000	6,000	8,000	0
そろばん教室	小学生 10名 700円	7,000	0	7,000	7,000	0	0
高齢者体操	高齢者 15名 1200円	32,000	14,000	18,000	30,000	0	2,000
ひざひざワックン体操	高齢者 15名 無料	4,000	4,000	0	4,000	0	0
誤嚥防止の ボイストレーニング &ストレッチ	高齢者 10名 2000円	30,000	10,000	20,000	30,000	0	0
歌声喫茶	高齢者 30名 200円	12,000	6,000	6,000	9,000	0	3,000
みんな元気に ラジオ体操！	小学生～成人 20名 無料	0	0	0	0	0	0
ほぐしてにっこり リラックス体操	成人 10名 2600円	31,000	5,000	26,000	30,000	0	1,000
生麦寄席	自由 自由 無料	9,000	9,000	0	9,000	0	0
そば打ち	成人 12名 1500円	32,000	14,000	18,000	13,000	18,000	1,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
四季を楽しむ 俳句入門	成人 12名 2500円	30,000	0	30,000	30,000	0	0
菊花展 (センター祭り) *ニーズ対応費で支払い	自由 自由 無料	0	0	0	0	0	0
パソコン講座	成人 15名 2000円	47,000	17,000	30,000	44,000	0	3,000
パソコン相談室	成人 10名 無料	5,000	5,000	0	5,000	0	0
春の寄せ植え ハンギング	成人 10名 1700円	22,000	5,000	17,000	6,000	16,000	0
似顔絵入門	成人 14名 2500円	35,000	0	35,000	30,000	5,000	0
藍染め	成人 12名 1500円	24,000	6,000	18,000	6,000	18,000	0
折り紙のつるし飾り (1回)	成人 10名 600円	11,000	5,000	6,000	6,000	5,000	0
パッチワークで 小物作り	成人 10名 1000円	16,000	6,000	10,000	6,000	10,000	0
アロマの 虫よけスプレー	成人 12名 500円	12,000	6,000	6,000	6,000	6,000	0
美しい文字を書こう ペン習字入門	成人 10名 1600円	32,000	16,000	16,000	30,000	2,000	0
みんな話せない 英会話初級	成人 12人 2500円	30,000	0	30,000	30,000	0	0
クリスマス アレンジメント	成人 10名 1700円	22,000	5,000	17,000	6,000	16,000	0

(様式3)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
和布でつくる 千支飾り	成人 10名 800円	14,000	6,000	8,000	6,000	8,000	0
毛糸の飾り	成人 10名 300円	3,000	0	3,000	0	3,000	0
ヘルスメイト クッキング	成人 12名 500円	10,000	4,000	6,000	0	6,000	4,000
上生菓子を作ろう (2回)	成人 10名×2 1600円	32,000	0	32,000	0	32,000	0
寒のみそ作り	成人 14名 1500円	22,000	1,000	21,000	0	21,000	1,000
おいしいパン作り	成人 10名 1800円	24,000	6,000	18,000	6,000	17,000	1,000
クリスマスケーキ づくり	成人 12名 1500円	24,000	6,000	18,000	6,000	17,000	1,000
琴コンサート	自由 自由 無料	11,000	11,000	0	10,000	0	1,000
弦楽器コンサート	自由 自由 無料	11,000	11,000	0	10,000	0	1,000
ハンドベルコンサート	自由 自由 無料	6,000	6,000	0	6,000	0	0
チャリティダンス パーティ	成人 15名 無料	24,000	24,000	0	17,000	0	7,000
琉球舞踊 (多文化交流)	自由 自由 無料	11,000	11,000	0	10,000	0	1,000
ボッチャ大会	小学生～成人 50名 200円	10,000	0	10,000	0	0	10,000

(様式3)

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり 参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
子どもフェス (生麦第一地区)	自由 自由 無料	2,000	2,000	0	0	2,000	0
三館合同秋祭り ※ニーズ対応費で支出	自由 自由 無料	0	0	0	0	0	0
ブラツルミ	成人 15名×2回 500円	21,000	6,000	15,000	18,000	0	3,000
横浜芸術アクション事業 パートナー事業 (1回)	小中学生～成人 10～20人/施設 400円	8,000	0	8,000	6,000	1,000	1,000
まだまだ知りたいわがまち鶴見 鶴見史跡巡りリレー講座 (全12回・1回/施設)	成人 全体で60人 2,000円/12回	10,000	0	10,000	8,000	1,000	1,000
合計		895,000	375,000	520,000	598,000	233,000	64,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市生麦地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会

◆子育て支援事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子 リズムあそび	<p>【目的】歩ける未就園児と保護者との楽しい時間を過ごす。小さいお子さんをお持ちの保護者の顔合わせの機会も作る。</p> <p>【内容】先生のピアノに合わせて、歌ったり踊ったりする。小さな人形のお話、ボール遊び、など。</p>	春季（全3回） 秋季（全3回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はなしのお宿	<p>【目的】読み聞かせや指あそびを通して未就園児にお話を聞く力、楽しむことを身に付けてもらう。</p> <p>【内容】読み聞かせや指あそび。</p>	毎月1回 8月除く

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏のおはなし会	<p>【目的】親子の触れ合いを目的に、家では体験できない大型絵本を親子で楽しみ、手遊び等で楽しい時間を過ごす。</p> <p>【内容】大型の絵本の読み聞かせと手遊び。</p>	夏・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
泣いても大丈夫 コンサート	<p>【目的】乳幼児をお持ちの親が、気兼ねなく親子でプロの音楽を楽しむ機会を与える。</p> <p>【内容】2～3人のプロクラシックの歌や演奏を楽しむ。 協力・ママクラシック・プロジェクト</p>	春秋・2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロウィン パーティ	<p>【目的】乳幼児と保護者が仮装してハロウィンを楽しむ場所を提供する。</p> <p>【内容】乳幼児と保護者が仮装して、簡単なゲームを楽しんだり、写真を撮ったりする。帰りにハロウィンのお菓子をもらう。</p>	10月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フォトde クリスマス	<p>【目的】クリスマスの飾りつけの中で、乳幼児の写真を撮り、かわいさと成長を記憶するお手伝いをする。</p> <p>【内容】クリスマスの飾りつけの中で、乳幼児の写真を撮る。簡単なゲームなどをする。</p>	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママカフェ	<p>【目的】小さい子供をもつ母親が、知り合い、子育ての悩みを共有したり、友達をつくったりしてもらう。</p> <p>【内容】乳幼児と母親が、お茶やお菓子を食べながら、子育てなどの話し合う。</p>	春秋・2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て相談	<p>【目的】乳幼児をお持ちの保護者の方に、子供を遊ばせながら、気楽に相談してもらう。</p> <p>【内容】乳幼児をお持ちの保護者の方に、気楽に相談してもらう。 協力：子育て相談員</p>	毎週火曜日午前中

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこサロン	<p>【目的】乳幼児と保護者のために、生麦第一地区社会福祉協議会の企画した遊びや季節の行事を楽しんでもらう。</p> <p>【内容】乳幼児と保護者のための、遊びや季節の行事を楽しんでもらう。</p>	年10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃ病院	<p>【目的】壊れたおもちゃを直すことで、物を大切にすること、愛着心を育てる。</p> <p>【内容】事前予約制。一人2点まで。その場で直せない場合は入院として預かる。部品代（電気部品など）は参加者が負担する。</p>	夏秋冬・3回

◆子ども・青少年育成事業

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワンパクサタデー	<p>【目的】子供たちが学年を超えてスポーツを楽しむ。生麦第一地区スポーツ推進員、青少年推進員、子供育成会の協力で、地域との連携を図る。</p> <p>【内容】土曜日の午後、ドッジボールやストラックアウトなどを行う。</p>	年7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鶴見川のお魚観察	<p>【目的】鶴見川護岸工事の際に残した貝殻浜の保護や自然について学ぶ。 *SDGs事業（14・海の豊かさを守ろう）</p> <p>【内容】カップパ供養と河岸の清掃。鶴見川の魚類を実際に捕獲して学ぶ。</p> <p>【共催】下流ネット鶴見</p>	7月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地球温暖化防止 科学講座	<p>【目的】気候変動による地球温暖化問題について、映像を見て考えてもらい、LEDなどを使った工作をおこなう。 *SDGs事業（13・気象変動に具体的な対策を）</p> <p>【内容】地球温暖化防止推進員による映像・座学の後に、テーマに沿ってLEDや廃品を使って工作する。</p>	7月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み 親子木工教室	<p>【目的】夏休みに親子で普段なかなか体験のできない、のこぎりや金づちの使い方を学び、作りたい作品を親子で完成させる。</p> <p>【内容】保護者と小学生ペアで参加し、最初に小刀で鉛筆を削る。本棚や花台など、事前に選んでもらった作品を作る。 協力：横浜鶴見建設業人材育成センター （神奈川土建鶴見支部）</p>	8月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども化学講座 手作り香水	<p>【目的】アロマの匂いの違いを知り、香水に含まれる成分や濃度・作り方を学んで、自分に合った香水を作る。</p> <p>【内容】世界に一つだけの手作り香水を作る。</p>	8月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どうやって入れる？ボトルシップ	<p>【目的】珍しいボトルシップの作成。ボトルシップを作成できる場所は、近隣では生麦地区センターの他に川崎1か所のみである。</p> <p>また、ボトルシップ作成講習を受けた講師に、指導の場を提供する。</p> <p>【内容】ビンの中に、複雑なパーツを組み立てる。細かい作業なので、講師や保護者の補助を受けながら学ぶ。</p>	8月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そろばん教室	<p>【目的】そろばんを習うことで、集中力と記憶力を養う。</p> <p>【内容】午後から夕方にかけて、小学生がそろばんを学ぶ。</p>	夏・全3回

◆高齢者健康づくり等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者体操	<p>【目的】高齢者の健康維持。いつまでも元気に地区センターに通ってもらう。</p> <p>【内容】高齢者向けの体操を行う。</p> <p>希望があれば、同様の体操サークルを紹介する。</p>	上半期・5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひざひざ ワックン体操	<p>【目的】手軽にできる中高年のひざ痛予防体操を身に付け、より健康な生活を送る。</p> <p>【内容】地域の保健活動推進員による指導で、椅子に座っておこなう。</p>	春季（全4回） 秋季（全4回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
誤嚥防止のボイストレーニング & ストレッチ	<p>【目的】高齢者がいつまでも健康で生き生きとした生活を送るには普段からのどを鍛える事が大切である。誤嚥防止につながるボイストレーニングで肺炎予防につなげる。</p> <p>【内容】誤嚥を防ぐためのボイストレーニングとストレッチを学ぶ。</p>	下半期・全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	<p>【目的】高齢者に歌手のエピソードや時代背景を伝えて、笑いや涙の共感を持ち、楽しい時間を過ごしていただく。</p> <p>【内容】歌謡曲、唱歌などのエピソードを説明した後に、皆で歌う。</p>	下半期・1回

◆趣味（一般・高齢者推奨）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんな元気にラジオ体操	<p>【目的】小学生から高齢者まで、皆で一緒に体を動かす。運動する機会を作り、健康増進に努める。</p> <p>【内容】10日程度、9時15分過ぎから、地区センターでラジオ体操や、簡単な運動をする。</p>	夏休み中10日程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほぐしてにっこりリラックス体操	<p>【目的】肩こりや腰痛ひざ痛等年齢を重ねると出てくる痛みを、簡単なストレッチの動きで音楽を聞きながらリラックスして、予防につなげる。</p> <p>【内容】イスやマットを使い、体をほぐしてリラックスできる体操を学ぶ。</p>	下半期・全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生麦寄席	<p>【目的】身近な地区センターで、遠くまで行かないと体験できない寄席を生で体験し楽しんでもらう。</p> <p>【内容】寄席を開催する。</p>	下半期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
そば打ち	<p>【目的】そばを作りながら、奥の深さを学んでほしい。特に年代性別を指定していないが、中高年の男性の参加が多いので、地区センターの新たな利用に繋がることを狙う。</p> <p>【内容】2人ずつ2組が交代で、3台の調理台でそばを打つ。捏ねることから、切る、茹でるまで、ひととおり行う。</p>	1月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
四季を楽しむ 俳句入門	<p>【目的】近年人気の俳句を季節ごとに季語の知識を増やしながらかしんでもらう。</p> <p>【内容】上旬、中旬、下旬の季語のニュアンスの違いを学び、講師が選んだ複数の季語を使って、次回までに作句し、講評を受ける。</p>	上半期・全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
菊花展	<p>【目的】苗から育てる。水やりや肥料配分などを学び楽しむ。センター祭りの地区センターで展示し、地域の方々に楽しんでいただく。何十年も続く地域に定着した行事である。</p> <p>【内容】屋外広場で講習会を開催。苗から開花まで育てた菊を地区センターのエントランスに飾る。</p>	センターまつり 展示（2週間）

◆パソコン（一般・高齢者推奨）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコン講座	<p>【目的】コロナ禍以降のパソコン需要に対応する。パソコンの基礎から応用まで学ぶ。</p> <p>【内容】4日連続で講座を実施する。テーマ：Excel、Word、Zoom、スマホ等。</p>	上半期・全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコン相談室	<p>【目的】パソコンの不明点を気軽に質問できる場を提供する。</p> <p>【内容】毎月1回パソコン操作に関して不明な点を一人15～20分相談できる講座を開催。</p>	毎月1回 8月除く

◆趣味・手芸等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春の寄せ植え ・ハンギング	<p>【目的】毎回、参加者に好評の寄せ植え。香りや色の組み合わせを考えながら、植物の手入れをする楽しさを知る。</p> <p>【内容】ハンギングの技術や手入れ方法を学ぶ。</p>	4月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
似顔絵入門	<p>【目的】線の描き方から学び似顔絵の基本を習い似顔絵を完成させ、似顔絵を描く楽しさを知ってもらう。</p> <p>【内容】似顔絵サークルの講師の指導のもと、有名人の似顔絵を描く。</p>	5月～7月・全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藍染め	<p>【目的】江戸時代から伝わる藍染の工程を学びながら「絞り染め」や「板締め絞り」などの絞りの技法を学んで自分の好みの作品を作る。</p> <p>【内容】シャツやストール等染めて一人二つ程度の作品を作る</p>	11月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
折り紙の つるし飾り	<p>【目的】折り紙の基本を学びながら折り紙の楽しさや美しさを感じてもらう。</p> <p>【内容】折り紙サークルの先生の指導で、季節に合わせたつるし飾りを作る。材料は折り紙や和紙を使用する。</p>	上半期・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パッチワークで 小物作り	<p>【目的】パッチワークをしながら手作りの楽しさを感じてもらい、個性豊かな作品を作り上げる。</p> <p>【内容】洋風柄の布を使い、エレガントなパッチワークの小物を入れを作る。</p>	下半期・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマの虫よけ スプレー	<p>【目的】アロマの香りの違いを学び、市販の物とは一味違う安心安全な虫よけスプレーを手作りする。小さなお子さんにも安心して使用できる。</p> <p>【内容】手作りの虫よけスプレーを作る。</p>	6月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
美しい文字を書こう ペン習字入門	<p>【目的】美しい文字を書けるようになりたいという願望を形にする機会をもってもらふ。在宅時間が増え、パソコンではなく、手書き、ペン習字の人気も高くなってきた。</p> <p>【内容】ペン習字サークルの講師のお手本と指導で、美しいバランスのとれた文字を書く。</p>	9月～11月 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんな話せない 英会話初級	<p>【目的】外国の人と話すことをためらわないようになることを目指す。</p> <p>【内容】参加者同士で話し合ったり、CD等を使ったりして、英語で会話ができるようにする。</p>	下半期・全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスアレンジメント	<p>【目的】アレンジメントの技術を学びながら、美しいものを作り出し、飾るものを楽しむ。</p> <p>【内容】アートフラワーなどを使い作成する。アレンジメントの流行技術などを参考にする。</p>	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
和布で作る 干支飾り	<p>【目的】ちりめんや古布の色合わせを楽しみながら、干支の動物を作り、お正月に飾ってもらふ。古布を使うことで、ものを大事にすることも学ぶ。</p> <p>【内容】ちりめんや古布の色合わせを考えて、干支の動物の置物を作る。</p>	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
毛糸の飾り	<p>【目的】毛糸で身の回りのかわいい飾りを作り、工夫やアイディアを楽しむ。</p> <p>【内容】毛糸で身の回りのかわいい飾りを作る。受付に見本を飾るとたちまち話題になる人気作品。しめ飾り、ドーナツ、イースターのひよこなど</p>	冬・1回

◆料理

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルスマイト クッキング	<p>【目的】季節の食材を使って簡単に美味しい料理の作り方を学、び健康で豊かな食生活に繋げる。ヘルスマイトと行うことで地域連携を図る。</p> <p>【内容】生麦第一地区ヘルスマイトの方々を講師に健康料理を作り試食する。</p>	下半期・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上生菓子を作ろう	<p>【目的】見た目の美しい日本の四季を感じさせてくれる上生菓子を作り、ご家族にも和菓子のおいしさを味わっていただく。</p> <p>【内容】地元（鶴見区）和菓子店の店主による季節の上和菓子作りの講座。持ち帰り10個あり。</p>	春秋・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
寒のみそ作り	<p>【目的】味噌作りの方法を学び、半年後に完成するわが家の味噌をご家族とともに楽しんでいただく。地元糀店の材料を使うことで地域を盛り立てる。</p> <p>【内容】大豆、米糀、塩で手作りみそ4kgを作る。</p>	2月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おいしいパン作り	<p>【目的】発酵など時間のかかるパン作りを学び、家庭でも失敗しないパン作りができるようにする。</p> <p>【内容】粉の計量から、捏ねる、発酵、焼き上げまで行う。持ち帰りあり。</p>	下半期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスケーキづくり	<p>【目的】ケーキづくりの基礎を学ぶ。</p> <p>【内容】粉の分量や混ぜるところから、焼き上がりまで行う。また、味見と持ち帰りもある。</p>	12月・1回

◆コンサート

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
琴コンサート	<p>【目的】季節に合わせた演目で琴の演奏を聴き簡単な琴の弾き方等説明を受け日本古来の楽器に触れる。</p> <p>【内容】地元の演奏家による琴コンサートを開催する</p>	1月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
弦楽器 コンサート	<p>【目的】生麦地区センターは、ヴァイオリンやウクレレやマンドリンの練習利用が多い。利用者の方に弦楽器の音楽を聞いて癒しを感じてほしい。また、発表の機会になり、交流が広がることを目指す。</p> <p>【内容】弦楽器練習利用者によるコンサートを開催する。</p>	下半期・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハンドベル コンサート	<p>【目的】近隣の学校の私立中高生ハンドベルの演奏を間近で聴いて、交流を深める。 また、中高生に発表の機会を提供する。</p> <p>【内容】地元の私立中高生によるハンドベルコンサートを開催する。コンクールで上位入賞経験あり。</p>	上半期・1回

◆ダンスパーティ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チャリティダンス パーティ	<p>【目的】地域の社交ダンスを楽しむ利用者に発表の機会を与える。開館時からの事業を継続したい。</p> <p>【内容】夕方からの社交ダンスパーティ。300円以上の寄付で自由参加。収益金は鶴見区社会福祉協議会に寄付。途中、講師によるダンスのデモンストレーションが披露される。</p>	秋・1回

◆多文化共生

事業名	目的・内容	実施時期・回数
琉球舞踊 (多文化交流)	<p>【目的】鶴見と深いつながりのある沖縄の文化を知ること で、地域の人とのつながりを深める。</p> <p>【内容】琉球舞踊を鑑賞。</p>	下半期・1回

◆地域交流事業

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ポッチャ大会	<p>【目的】楽しみながら、健康のための運動を行う。地域の方々との交流を目指す。</p> <p>【内容】ポッチャを競う。1チーム3人、16チーム。 協力：老人会、スポーツ推進員、青少年指導員</p>	2月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもフェス (生麦第一地区)	<p>【目的】地域主催の子供フェスティバルに出店参加の事業を行い、地域との一体感を共有し、また、住民に認知してもらい、地区センターに足を運んでもらう。</p> <p>【内容】けん玉、工作など。生麦小学校で行う。</p>	5月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
三館合同秋祭り	<p>【目的】利用団体の発表・展示等を行い、他の利用者や地域の方に活動や地区センターを楽しんでいただく。三館合同開催で地域連携を深める。</p> <p>【内容】体育室での発表や各部屋での展示。屋外ではゲームと食品の模擬店も出店。</p>	11月・1回

◆施設間合同事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ブラツルミ	<p>【目的】コロナウイルス対策として屋外での自主事業 近隣施設間の合同企画・募集事業</p> <p>【内容】鶴見区内の史跡・名所・人気スポットなどを徒歩で探訪する。飲食が可能な状況であればグルメスポットも追加する。</p>	春秋・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜芸術アクション事業 パートナー事業	<p>【目的】横浜市の芸術アクション事業と連携して、鶴見区の芸術文化発信と相互交流を図る</p> <p>【内容】3年周期で継続的に開催されている横浜市の芸術アクション事業（下記）のパートナー事業</p> <p>令和4年度「音楽」 令和5年度「横浜トリエンナーレ」 令和6年度「ダンス」</p> <p>地区センター等で活動する団体が、サルビアホールまたは地区センターで合同発表会をする。</p> <p>【共催】サルビアホール</p>	横浜市の 芸術アクション 事業開催時期 年1回

まだまだ知りたい いわがまち鶴見 鶴見史跡巡り リレー講座	<p>【目的】鶴見区内を細かく散策し、まだ知らない鶴見を発見する</p> <p>【内容】</p> <p>①施設間合同事業 ②各講義と散策のダブル講座 ③各地域の古老に地域の歴史を聴く ④ワックンカルタを元に散策、拠点は各施設</p> <p>【中央】鶴見神社田祭り【潮田】臨海工業地帯【公園】潮田神社【寛政】鶴見と沖縄【生麦】生麦事件【寺尾】二つ池【上寺尾】寺尾城趾【ログハウス】横溝屋敷【末吉】兜塚【新鶴見】夢見ヶ崎【矢向】日枝神社お神楽【市場】一里塚</p>	全12回 1回/施設
--	--	---------------

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
施設名	横浜市生麦地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

（単位：千円）

提 案 額 (a)	29,989	指定管理料提案額＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額（b）の範囲内で提案してください。
※区指定上限額（b）	29,989	
差 引 (a) - (b)	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
利用料金収入 [A]	3,012	
自主事業収入 [B]	520	
雑入 [C]	577	
小 計 【ア】 ([A]～[C])	4,109	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	28,985	【ウ】－【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分） [E]	1,004	[A] × 1 / 3
小 計 【イ】 ([D]～[E])	29,989	指定管理料の計
収入合計（【ア】＋【イ】）	34,098	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
人件費 [a]	21,927	
事務費 [b]	1,580	
自主事業費 [c]	895	
管理費 A（光熱水費等） [d]	3,280	
管理費 B（保守管理費等） [e]	4,069	
公租公課 [f]	685	
事務経費 [g]	658	
小 計 【ウ】 ([a]～[g])	33,094	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	1,004	[E]と同額になります。
小 計 【エ】 ([h])	1,004	ニーズ対応費の計
支出合計（【ウ】＋【エ】）	34,098	

※金額は、消費税及び地方消費税（10％）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
施設名	横浜市長生地区センター

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳（指定管理料除く）

（単位：千円）

	項 目	内 容 等	金 額	
利用料金収入			ア 3,012	
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
			カ	
			キ	
			ク	
			ケ	
	小 計		[A] 3,012	ア～ケ
自主事業収入		自主事業計画書（様式3）のとおり	コ 520	
			サ	
			シ	
			ス	
			セ	
	小 計		[B] 520	コ～セ
雑入	印刷代	12千円/月	ソ 144	
	自動販売機手数料	2台で36千円/月	タ 432	
	その他		チ 1	
			ツ	
			テ	
			ト	
	小 計		[C] 577	ソ～ト

小 計 【ア】	施設運営収入計	4,109	[A]～[C]
---------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（10％）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
施設名	横浜市長生地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

（単位：千円）

	項 目	内 容 等	金 額	
人件費	正規雇用職員		ア 7,156	
	臨時雇用職員	主任、スタッフ	イ 13,011	
	対象外の人件費		ウ 1,760	ウ-1～ウ-4
	社会保険料		ウ-1 1,100	
	通勤手当		ウ-2 500	
	健康診断費		ウ-3 40	
	勤労者福祉共済掛金	中退共掛金	ウ-4 120	
	小 計		[a] 21,927	ア～ウ
事務費	旅費		エ 5	
	消耗品費		オ 600	
	会議賄い費		カ 40	
	印刷製本費		キ 0	
	通信費		ク 110	
	使用料及び賃借料		ケ 112	ケ-1～ケ-2
	横浜市への支払い分	自販機目的外使用料2台分	ケ-1 82	
	その他		ケ-2 30	
	備品購入費		コ 100	
	図書購入費	ニーズ対応で支出	サ 0	
	施設賠償責任保険		シ 14	
	職員等研修費		ス 6	
	振込手数料		セ 10	
	リース料		ソ 233	
	手数料		タ 350	
	地域協力費		チ	
			ツ	
	小 計		[b] 1,580	エ～テ
自主事業費			[c] 895	
管理費 A	電気料金		ト 1,800	
	ガス料金		ナ 900	
	上下水道料金		ニ 580	
	小 計		[d] 3,280	ト～ニ
管理費 B	清掃費		ヌ 1,750	
	修繕費		ネ 200	
	機械警備費		ノ 170	
	設備保全費		ハ 1,949	ハ-1～ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1 670	
	消防設備保守		ハ-2 120	
	電気設備保守		ハ-3 800	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4 59	
	駐車場設備保全費		ハ-5 0	
	その他保全費		ハ-6 300	
	共益費		ヒ	
			フ	
	小 計		[e] 4,069	ヌ～ヘ
公租公課	事業所税	法人税等	ホ 3	
	消費税		マ 681	
	印紙税		ミ 1	
	その他（ ）		ム	
	小 計		[f] 685	ホ～ム
事務経費	本部分		メ 658	
	当該施設分		モ	
	小 計		[g] 658	メ～モ
小 計 【ウ】		施設管理運営経費計	33,094	[a]～[g]

※金額は、消費税及び地方消費税（10％）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。